



第62期 中間報告書

2014年 3月期 2013.4.1 ▶ 2013.9.30

株主の皆様へ

平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当上半期のわが国経済は、政府による経済政策や金融政策に対する期待感から、株価上昇や円高是正の進行また個人消費の拡大等があり、緩やかな回復基調となりました。

当社グループの主力事業分野であります自動車業界におきましては、国内生産は減少したものの、海外生産は北米、アセアンの増産で概ね堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは積極的な営業展開により業績の拡大に取り組んでまいりました。更に為替の円安効果もあり、売上高並びに各利益とも前年同期を上回る実績となりました。

下期におきましては、新興国の成長減速や欧州の景気後退長期化等の懸念材料もありますが、自動車業界においては世界的な自動車需要に支えられ、底堅い推移が予想されます。

当社グループは引き続きグローバルサプライヤーとして、「ファブレス&ファクトリー」機能を最大限に活用し、業績の拡大と経営基盤の強化に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

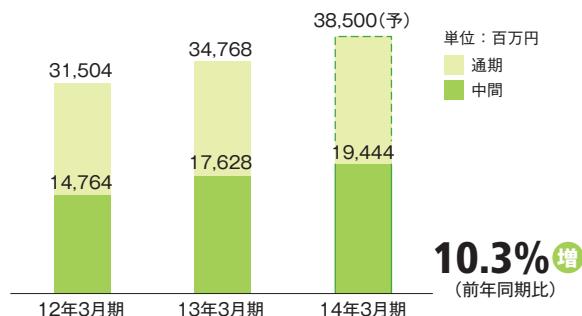


代表取締役社長
前川 富義

2013年12月

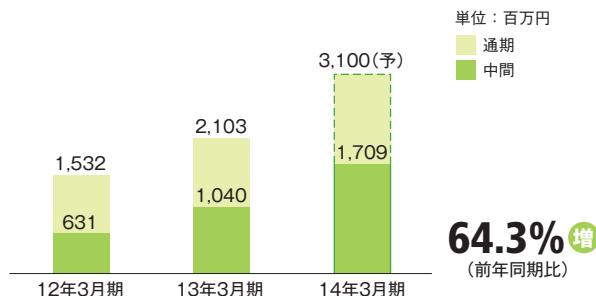
連結売上高

海外市場における需要回復や円安効果により増収となりました。



連結営業利益

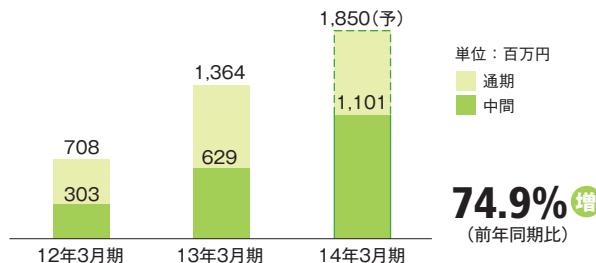
売上高の増加及びグループ各社の利益率の改善と業務の効率化が奏功したことにより、大幅な増益となりました。



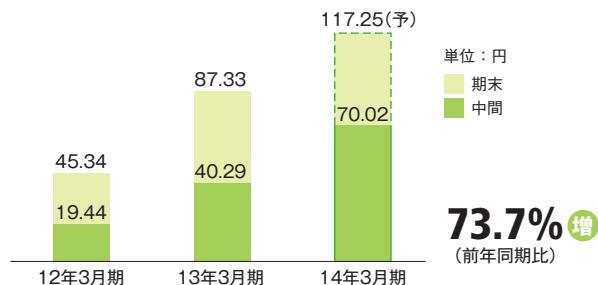
連結経常利益



連結当期純利益



1株当り当期純利益



1株当り配当金

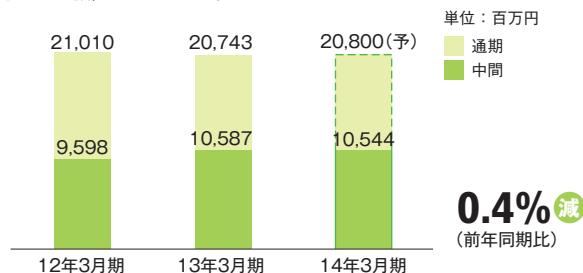


Sales by Geographical Segment

地域別売上高

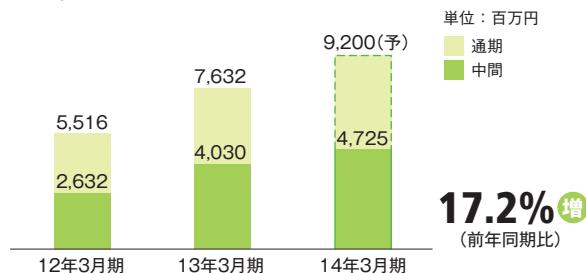
日本の売上高

自動車メーカーの新興国向け輸出減や海外への生産シフトのほか、折り畳み式携帯用部品の減少もあり、売上高は105億4千4百万円(前年同期比0.4%減)となりました。



米州の売上高

緩やかな景気回復を背景に、日系自動車メーカーの生産が堅調に推移したことにより、売上高は47億2千5百万円(前年同期比17.2%増)となりました。



アセアンの売上高

タイ国では、日系自動車メーカーの増産と前期の洪水影響からの回復により、売上高は19億7千3百万円(前年同期比62.8%増)となりました。



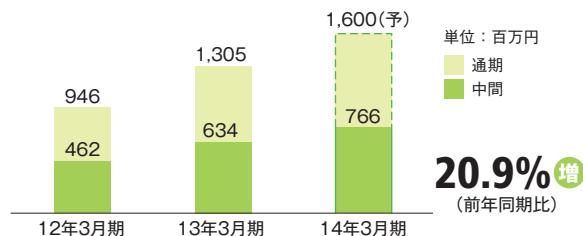
中国の売上高

日系自動車メーカーの増産と新規受注の効果もあり、売上高は14億3千4百万円(前年同期比23.3%増)となりました。



欧州の売上高

日系自動車メーカーの生産は減少したものの、新規受注の効果により、売上高は7億6千6百万円(前年同期比20.9%増)となりました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2013年9月30日	前期末 2013年3月31日
資産の部		
流動資産	21,895	19,308
固定資産	7,670	7,298
資産合計	29,565	26,607
負債の部		
流動負債	10,044	9,357
固定負債	831	798
負債合計	10,875	10,156
純資産の部		
株主資本	17,670	16,627
その他の包括利益累計額	637	△562
新株予約権	57	75
少数株主持分	325	311
純資産合計	18,689	16,451
負債純資産合計	29,565	26,607

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 自2013年4月1日 至2013年9月30日	前第2四半期累計期間 自2012年4月1日 至2012年9月30日
売上高	19,444	17,628
売上原価	15,074	13,984
売上総利益	4,369	3,643
販売費及び一般管理費	2,660	2,603
営業利益	1,709	1,040
営業外収益	57	45
営業外費用	26	72
経常利益	1,739	1,013
特別利益	2	42
特別損失	1	3
税金等調整前四半期純利益	1,740	1,052
法人税等	640	420
少数株主利益	△1	2
四半期純利益	1,101	629

中間配当金について

2013年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主の皆様に対し次のとおり中間配当金をお支払いします。

1.中間配当金	1株につき10円
2.支払い開始日	2013年12月5日(木)

メキシコの拠点が営業を開始しました。

社屋の完成、社員の採用等、体制構築が完了し、2013年6月より営業活動を開始いたしました。

当社グループではOHASHI TECHNICA MEXICO,S.A.DE C.V.をグローバルな事業展開の重要な拠点と位置付け、グループ各社と連携をとりながら事業拡大に努めてまいります。



会社概要

社名	株式会社オーハシテクニカ OHASHI TECHNICA, INC.
本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目7番2号
設立	1953年（昭和28年）3月12日
資本金	18億2,567万円
従業員数	グループ合計 809名
連結子会社	国内2社、海外11社
主な事業内容	①自動車関連部品等の設計開発・製造・販売 ②物流業務並びに輸出入業務

役員(取締役及び監査役)

代表取締役社長	前川 富義
取締役	柴崎 衛
取締役	小林 正一郎
取締役	豊田 孝二
社外取締役	田口 武尚
常勤監査役	瀬口 悦雄
社外監査役	三好 徹夫
社外監査役	新妻 幹夫

執行役員

上席執行役員	古性 雅人
執行役員	穂満 敏朗
執行役員	中村 佳二
執行役員	廣瀬 正也
執行役員	堀 正人

株式情報

株式数及び株主数

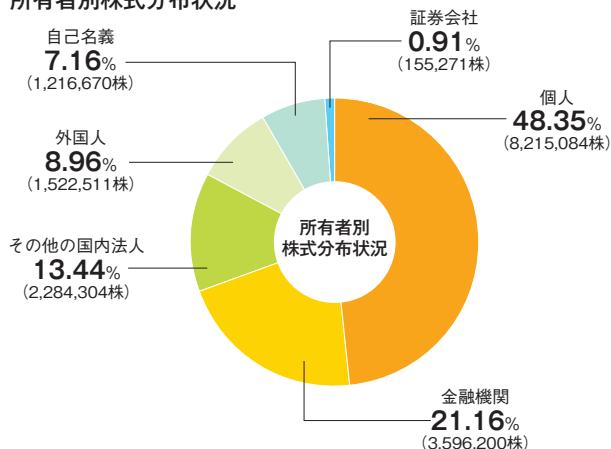
発行可能株式総数	64,000,000株
発行済株式総数	16,990,040株
株主数	7,029名

大株主

株主名	持株数	持株比率
オーハシテクニカ取引先持株会	1,360,400株	8.00%
いちごトラスト	1,186,800株	6.98%
株式会社みずほ銀行	775,200株	4.56%
日本生命保険相互会社	660,000株	3.88%
久保 好江	507,680株	2.98%
久保 雅嗣	507,680株	2.98%
阿部 泰三	502,600株	2.95%
日野自動車株式会社	400,000株	2.35%
大橋 玲子	353,700株	2.08%
明治安田生命保険相互会社	340,000株	2.00%

(注)上記のほか、当社は自己株式 1,216,670株を保有しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	
定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
	取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	下記ホームページに掲載いたします。 http://www.ohashi.co.jp

住所変更、単元未満株式の 買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開
設されました株主様は、特別口座の口座管理機
関である三井住友信託銀行株式会社にお申出く
ださい。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式
会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配
当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく
「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行
う際は、その添付資料としてご使用いただくこ
とができます。確定申告をなされる株主様は大
切に保管ください。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただい
ている株主様につきましては、源泉徴収税額の
計算は証券会社等にて行われます。確定申告を
行う際の添付資料につきましては、お取引の証
券会社にご確認をお願いします。

株主優待のご案内

当社では、株主の皆様へ感謝の意を示すとともに、長期的なご支援をいただ
けるよう、株主優待を実施しています。

100株以上保有の全株主様に、保有数に応じた枚数のおこ
めギフト券を年に2回お届けしています。

また、2008年からは長期保有優遇制度も導入い
たしており、3年以上継続保有の株主様に対しては、
更におこめギフト券を1枚(1kg)追加進呈いたして
おります。



～株主優待の内容～ おこめギフト券を進呈

100株以上	1枚 (1kg)
1,000株以上	3枚 (3kg)
10,000株以上	5枚 (5kg)

※3年以上継続保有の株主様に対しては、更に1枚を
追加進呈いたしております。

割当基準日	3月末日・9月末日
優待回数	年2回

株式会社オーハシテクニカ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目7番2号
TEL. 03-5404-4411 (代)
IRに関してのお問い合わせ：ir@ohashi.co.jp

<http://www.ohashi.co.jp>



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。

